

豊里



地域のつながり深まる夏祭り

「とよさと夏祭り2019」(豊里コミュニティ推進協議会主催、佐々木信義会長)は8月15日、豊里公民館駐車場で開かれ、地域住民など約800人が参加しました。
会場では、よさこい演舞やヒップホップ、レゲエライブなど、さまざまなステージイベントが催され、会場は大いに盛り上がりました。祭りの最後には、盆踊り大会を開催。子どもからお年寄りまで大勢の人が一体となり、地域の交流をより深める祭りになりました。

長年の交流を忘れることなく

「富山県入善町姉妹都市交流事業」(登米市米山町地域間交流推進委員会主催、川原美治会長)は8月7、8の両日、平筒沼などで開かれ、米山地区の16人と入善町から訪れた18人の小中学生が交流を深めました。
平筒沼では4班に分かれ、ドラゴンボートやカヌー・ローボートを体験したり、沼に浮かべた発泡スチロールを渡って歩いたりして楽しんだ後、入善町の特産品であるジャンボスイカを味わい、充実した時間を過ごしました。



米山

石越



夏の猛暑に勝る剣道への情熱

「第11回石越町剣道サマーフェスティバル」(石越町剣道協会、登米市石越地区体育協会、いしこしENJOYクラブ共催)は8月4日、石越体育センターで開かれ、石越地区の剣道愛好家が世代を超えて交流を深めました。
サマーフェスティバルは、石越地区の剣道愛好家が剣道に親しむことが目的。ソフト剣道による親子対決や小学生から一般までの混合チームによる団体戦で白熱した試合が繰り広げられ、参加者は心地よい汗を流しました。

小学最後の夏の思い出づくり

南方地区3小学校の6年生を対象とした交流宿泊「大嶽山キャンプ村2019」が7月31日、8月1日の両日、大嶽山交流広場で開かれました。
キャンプ村は、中学入学前の交流と自主性、協調性やリーダーシップなどを養うことが目的。野外炊飯、キャンプファイヤー、ジュニアリーダーとのダンスやゲーム、水鉄砲作り、興福寺住職の講話など、盛りだくさんの内容で、小学生最後の夏に楽しい思い出を作りました。



南方

津山



着付け姿で夏の味覚を楽しむ

柳津小学校放課後子ども教室の「着付け体験・流しそめん」が8月7日、津山老人福祉センターなどで開かれ、大勢の子どもたちが参加しました。
子どもたちは、自分や友達の着付けがうまくいくと大はしゃぎ。着付け後は、浴衣姿であいさつや歩き方の作法などを学びました。流しそめんでは、そめんのほかにもプチトマトやキュウリなどを流し、箸ですくうのを楽しみながら口いっぱい夏の味覚を頬張りました。

迫



迅速な対応目指し技術を磨く

登米市消防団迫支団(佐藤光一迫支団長)の全体訓練は8月25日、長沼ポート場で開かれ、消防団員160人が参加しました。
訓練は、消防技能の向上と団員の規律資質の向上を目的に、毎年開催。当日は、通常点検や機械器具点検、小隊訓練、小型ポンプ操法などを訓練しました。参加した団員は、技術の向上に向けて連携を確認し合いながら、消火活動への意識を新たにしていました。

お囃子の音でにぎわう夏の夜

「とよま盆おどり大会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は8月15日、登米公民館駐車場で開かれ、老若男女250人が祭りを楽しみました。
やぐらの上では、とよま山車まつり保存会が笛や太鼓で軽快なお囃子を披露。参加者は演奏に合わせて楽しそうに盆踊りを踊りました。会場で催された抽選会では、精米機や掃除機などの豪華賞品が当たるたび、歓声が沸いていました。



登米

東和



自然に触れながら仲間と共助

「夏休み防災キャンプ」(青少年のための登米市民会議東和支部主催、丸森一城会長)は、8月10、11の両日、東和町米川にある綱木親和会館で開かれ、東和地区の小学生14人が防災について学びました。
キャンプでは共助意識の醸成を目指し、応急手当や毛布を使った搬送方法などを学習。子どもたちは、収穫した野菜での野外炊飯、のこぎりや金づちを使った木工体験、沢遊びなど、自然を満喫しながら活動に取り組みました。

フリマで楽しくお得な買い物

「TAKARAEふれあいフリーマーケット」(宝江コミュニティ運営協議会主催、田島幹雄会長)は8月4日、宝江ふれあいセンターなどで開かれ、訪れた地域住民約500人が、会話を弾ませながら買い物を楽しみました。
当日は雑貨や衣類、日用品などが出品され、参加者はお得な買い物を堪能。会場内では、緑日コーナーや地元の高校生によるバンド演奏など、さまざまな催しもあり、夏休み中の子どもや家族連れでにぎわいました。



中田